第22回議会報告会　報告書

地 域 名	三谷地域		
年 月 日	令和４年４月26日（火）	会 場 名	三谷多目的集会センター
開始時間	19時30分	終了時間	21時05分
参 加 数	男性　20人	女性　2人	合計　22人
班　　長	植村 和好（欠席）	司 会 者	深澤　巧
報 告 者	中島 恵子、西垣　司、深澤　巧	書　　記	中島 恵子
班 員 名	植村 和好、中島 恵子、西垣　司、深澤　巧		

	市　　民	対　　応
意見交換会での質疑	① ウクライナ侵攻に抗議する決議は日本政府に届いているのか。世界情勢を無視していないか。	①　議会決議し、広く意思を示したもの。政府に届けていない。今後の展開により具体的なことをすすめていかなければならないという声は議員の中でもある。
	② 男女共同参画推進の市の冊子が配付された。若い人や女性が出にくい状況はあると思う。一方で地区の女性会が解散になっている。女性の進出と逆行すると思う。環境の整備や具体的な数値目標が必要だ。旗振り役を果たしてほしい。	②　個人の意見であるが、女性会の解散＝女性の進出の逆行にはならないと考えている。他にも女性が活躍できる場所はある。受け入れる側は性別ではなく人として能力をみてほしい。議会に関しては女性議員枠の定数（クォータ制）が必要である。地域に出かけて女性と交流する。しっかり取り組み行動したい。
	③ 市は民生委員の人数の統廃合をして減らしていく方向なのか。	③ 県から定数削減の強い指導がきている。市長が裁量権を行使して県にしっかり市の実情を意見具申すべき、と質した。当初、三谷と船谷も合区案が提示されたが撤回されている。最終的に６月頃に決まる。
	④ 持続可能な農業について担い手が不足している。高額な機械や雇用の課題がある。三谷でも集団営農組織の話が出るが前に進まない。市はどのように対応されるのか。金銭的に厳しい。	④ どこの地域でも同じ悩みを抱えている。農地プラン、農地バンクの活用がある。米の収益だけでは現実的に厳しい。多くの補助制度や利子補給制度がある。組織を立ち上げ積極的に市の支援をもらうなど地域全体で取り組まなければ持続は難しい。

市　　民		対　　応
意見交換会での質疑	⑤ 中山間地域等直接支払交付金を受けている。毎月、農会会議を開いて相談している。地域の耕作者の意志が共同でまとまるように情報や意見交換が必要だ。	⑤　意見としてお聞きする。
	⑥ 市役所組織について、職員も大変そうだ。市役所内の風通しについての質問があった。必要な人材が辞めてしまう現状があるのでは。議会答弁で「市民起点」とあったがどのようなことなのか。	⑥ 合併以来、職員を減らしてきた。一方で業務は増え、事務仕事に追われ若い職員は現場に行けない。それで悩んでいる職員もいる。現場に職員が出向き、先に質問されたような地域農業の現場と実情に合った施策をお互いに考えるべきと指摘した。そのことが、市民のことから始めるという市民起点の理念の徹底につながると提言した。
	⑦　議員報酬について、議員自身は自分の報酬は多いと思うか、少ないと思うか。若者や女性の議会進出のために報酬を上げるのは理由にならない。人口減少の中で今後の議員定数の話も出ている。	⑦　合併後の報酬審議会で市長の４割程度の報酬額が答申された。議員活動の中で考えると安易に高い低いとは言えない。議会と議員の活動が認められれば自ずから市民が高いか低いかを決めてくれる。将来的には報酬改定は必要と思うが、今はその段階に至っていない。定数も市民の声を聞いて改定することを議会基本条例で決めている。
	⑧ 議会たよりの一般質問の中で教育委員会はいじめの件数を把握している、とある。田舎の小さな学校でもいじめはあるのか。対策をされている学校はあるのか。	⑧ いじめや不登校の数字は公表されているが表面化しない部分もある。対策は学校で定めているが学校にいけない子どもは増えている。「子どもの第三の居場所」が整備され来年度から運営される。不登校などで悩みながらも能力を発揮し将来の自立ができるような支援施設である。
	⑨ 建屋でも地域おこし協力隊に頑張ってもらっているが、市内での現状はどうか。活動や定着はどうか。	⑨ 現在 11 名の隊員がいる。かつて建屋でも農業希望の隊員が来た。最近は、地域おこし、ジビエや情報発信の方が多い。今回来られた松井隊員が将来の地域の起爆剤になるよう、逆に地域が協力されたい。

市　　民		対　　応
	⑩ 一般質問では議員の思い、内容をしっかりやりとりしてほしい。３月の中島議員の質問はよい質問の例である。議会全体で質問内容について議論されたい ⑪ 各方面からウクライナに義援金を出している。養父市議会はどうしているのか。	⑩　市民レベルで皆が幸せになるためにはどうしたらいいか、との思いで質問している。新人議員研修で答弁に対して議論を深める方法を教わった。結果を残す質問をしなければならない。 ⑪ 決議をした。全員協議会の中で意見を出したが義援金などの具体的なことには至らなかった。
その他（提言など）	①　自治協で地域づくり計画の見直しをした。リサイクル意識が高まっている。反面、分別収集庫が手狭になっている。４集落あるが収集庫は３カ所しかない。他の地域ではどうか。 ② 子どもの数が減っているが、安心して遊べる場所がない。公園の一つもない所に移住定住とはならない。議会でも取り上げてほしい。	①② 提言については報告書にもあげる。谷筋の長い集落で収集庫が一つしかないため、高齢化が進み、ごみ出し困難世帯のごみ収集を区で担っている地区もある。子どもの公園については関心のある議員もいる。
備考　報告に対する質疑はなかった。		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和４年５月 20 日

報告者　　３班　　班長　　植村　和好